

くるみんの認定通知書交付式を開催しました！

平成29年7月11日、群馬労働局では、次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業（くるみん認定）として認定した太平食品工業株式会社及び株式会社ヤマダ・エスバイエルホームに対する認定通知書交付式を開催しました。



前列左から、株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム 統括課長 安部様、群馬労働局長 半田 和彦、太平食品工業株式会社 専務取締役 秦様

くるみん認定は、子育て支援に関する「一般事業主行動計画」の策定及び目標の達成、女性の育児休業取得率が75%以上、**男性の育児休業取得者がいること**等の基準を満たした企業が受けることができます。

認定された企業は、認定マーク(愛称:くるみん)を、**従業員の募集や商品の広告、ホームページ等で表示し、優秀な人材の確保・採用や、企業イメージの向上**につなげることができます。



半田 群馬労働局長からの挨拶



女性が働きやすいのか否か評価する上で様々な指標がありますが、ひとつ挙げますと群馬県の合計特殊出生率は平成28年度は1.48、平成27年度は1.49ですので、0.01ポイント下がりました。全国は平成28年度は1.44、平成27年度が1.45であり、やはり0.01ポイント下がるなど、子育てが難しい現状を示していると思います。さらに出産後も保育園の問題があると言われています。私たちは、それらを踏まえて、労働者が子育てにより離職することを防ぎ、仕事と子育てを両立しながら働き続けられる環境を整備する優良なリーディングカンパニーを認定する制度を作っております。

私たちは、働くということは生活することの一部であると共に、子育てしやすく、ある程度のゆとりを持った生活を送れるようなことをワーク・ライフ・バランスという概念で示しております。様々な企業がワーク・ライフ・バランスに励んでいますが、その中でも、くるみん認定を受ける会社というのはワーク・ライフ・バランスの優れた会社であると認識しております。法律の関係では、本年1月1日に改正育児介護休業法、改正男女雇用機会均等法が施行され、さらに10月から育児休業については、保育所に入所できない場合にかぎり現行の1歳6か月までの延長からさらに半年延長し、2歳まで利用できる形で施行されることとなっております。いずれにしても、子供を産み育てながら職業生活との両立が図られることに取り組み、基準を満たした企業を認定するというものです。

今回、このような中で、くるみん認定された2社をご紹介します。

1社目は太平食品工業株式会社です。くるみんの認定基準がこの4月から変わり、男性の育児休業の取得率が7%以上と非常に厳しい条件になりましたが、県内で初めて達成した企業です。その他の取り組みとしては、看護休暇中の賃金を有給にするなどの措置です。さらに年次有給休暇の他にアニバーサリー休暇があります。また、ライフイベントでの結婚記念日、お子さんが入園入学する日、卒業というような時に休暇を取得しやすいような制度も作られました。制度の拡充によって平成28年度の有給休暇取得率は58%という非常に高い達成率で今回認定となりました。

2社目の株式会社ヤマダ・エスバイエルホームですが、平成21年に初めてくるみんの認定を受け、今回が4回目です。全国的に両立支援の取組みを継続的に進めている会社と言えます。特に、女性の育児休業取得率が100%はもちろんのこと、男性の育児休業取得者が9名いるなど、男性の育児休業取得促進の取組みを積極的に進めています。また取り組みの一例ですが、育児短時間勤務について子供が小学校3年終了時まで利用できるなど制度の拡充を行なっています。また、育児休業終了後の復職がスムーズにいくように休業取得者に対して様々な手厚い支援を会社として行なっています。このような点が今回くるみん認定のポイントになった点です。4回目というのはたぶん全国的にもあまりないことだと思います。

全国的にくるみん認定企業が働きやすいという会社と言われ、働きやすい企業イコールくるみん認定を受けていると思われるように私たちも努力しますので、両立支援の取組みを継続して頂ければと存じます。本日は、おめでとうございます。

太平食品工業株式会社

専務取締役 秦 様からのコメント



弊社はサッポロ一番ブランドで即席めん事業を展開しているサンヨー食品の製造部門を担っている会社です。テレビCMの「そのひと手間がアイラブユー」のキャッチコピー、これは家庭の食卓を豊かなものにする、家族団らんの暖かい食卓に役立ちたいとの思いで作られました。家庭を大切に思っている弊社が、今回子育てサポート企業としてくるみん認定されることを大変うれしく思っています。今回の子育て支援への取り組みの一環として私どもが行った一つとして、子供の看護休暇の有給化があります。実施して3カ月になりますが母親のみならず父親も看護休暇を取っていて、この3カ月でイクメンパパ3人が誕生しております。会社は子育て世代の社員を支援していくことは当然のことながら、社員一人一人が働きがいのある充実した生活を送れるような職場環境を整えていくことが大切だと考えております。これからも社員のワーク・ライフ・バランスの実現と会社の継続的な発展を目指して、このような取り組みを積極的に推進していきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。



株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム

設計・技術・商品開発部統括課長 兼務 女性活躍推進チームリーダー
安部 様からのコメント

当社は、昭和 26 年に設立し、今年で創業 66 周年を迎える住宅メーカーです。平成 23 年にヤマダ電機と業務提携し、現在株式会社ヤマダ・エスバイエルホームという社名になっております。本社は大阪でしたが昨年 5 月にヤマダ電機の本社がある高崎市に移転しました。今回のくるみん認定は 4 回目ですが今年度は群馬県で認定して頂き大変光栄に思っております。

先程ご紹介頂きましたが『女性活躍推進チーム』を平成 18 年に立ち上げ、11 年目になりました。立ち上げ当初は住宅営業の男性社員が育児休業を取得するのは難しい状況でしたが、昨今のワーク・ライフ・バランスの進展と共に男性の育児休業についても段々と浸透してくるようになりました。今では人事部門と協力して育児休業の対象者に連絡することにより、夏期休暇や有給休暇とあわせて取っていただけるようになってきました。その体験談も他の社員にイントラ配信し、次の取得に繋がるような取り組みを続けています。女性社員に関しては子育てを経験し働き続けている先輩社員がいますので、そういった人たちからメッセージをもらい、復帰に不安になっている社員に送ることでその不安を和らげるようにしています。推進チームを始め 10 年経ち、停滞期もあり、失敗も多々ありましたが、あきらめずに続けたことが今回のくるみん認定につながったと思います。私たちが取り組んだ体験が群馬県の他の企業様のご参考になればと思っています。今日は本当にありがとうございました。

